

中小企業の魅力発信！ 中小企業経営者と大学生が交流

去る6月15日、大阪産業大学にて中小企業の魅力発信を目的に「中小企業と若者との交流事業」を開催。大阪産業大学に在籍する学生24名に向けて、東大阪市内企業4社が自社の企業概要および中小企業の魅力についてプレゼンテーションを行った。その後、学生と経営者がグループディスカッションを行い、参加企業は各社の魅力を伝えた。



中小企業研究交流センター 国際情勢の行方を探る

去る6月18日、本所では中小企業研究交流センター（会長 山本雄才

氏）主催で景気動向研究会を開催し、22名が参加した。

近畿大学 世界経済研究所 特任教授 安孫子勇一氏が「昨今の国際情勢が日本経済に与える影響」をテーマに、トランプ関税や中東問題など、日本経済を取り巻く状況について解説。参加者は今後の日本経済の行方について理解を深めた。

特長ある店表彰 ～議員総会の席上で表彰～

去る6月23日、経営手法や品揃えに特長がある事業者を「特長ある店」として、第18回常議員会並びに第7回通常議員総会の冒頭に表彰した。受賞者は以下の通り。

◇(株)ドラ（美容院）



▲(株)ドラ 飯塚社長

自然災害やサイバー攻撃の備え BCP策定セミナーを開催

去る6月25日、「中小企業のためのBCP策定セミナー」を開催し、25名が参加した。

東京海上日動火災保険(株) 大阪南支店マーケティング創造チーム 主任 石井瑞恵氏およびゼネラルスタッフ(株) 代表取締役 上田渥史氏より、重要性が高まりつつあるBCPの基礎知識や中小企業を取り巻くリスクへの対応について解説。また、大阪府「超簡易版BCP『これだけは！』シート」を用いたワークショップを実施し、参加者は有事の際の対応強化に向けた第一歩を踏み出した。

東京ビッグサイトで 東大阪の技術力をアピール

去る7月1日から3日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された国内最大級のモノづくりに展示会「第31回機械要素技術展」に、東大阪市・東大阪商工会議所の共同出展ブースを設け、市域の15社

が出展した。



展示会には81,697人が来場し、出展者は首都圏での効果的なビジネスマッチングを図るため、自社製品や技術等を積極的にアピールした。

工業振興月間 記念講演会 株 瀬 祭 桜井一宏氏が登壇

本所では、毎年7月を工業振興月間と定め、今年度は「変化の時代を生き抜くイノベーション思考」をテーマに、次世代技術の活用や生産性向上などによって「稼ぐ力」を高めることを目的に様々な事業を集中的に展開した。

去る7月6日には、振興月間の皮切りに(株)瀬祭 代表取締役 桜井一宏



氏を招聘し、「瀬祭の歴史と戦略」をテーマに記念講演会を開催。74名が参加し、同社を世界ブランドへと成長させた経営革新や海外戦略の手法について学んだ。

若手従業員の 早期戦力化セミナーを開催

去る7月8・9日の2日間にかけて大阪府立東大阪高等職業技術専門学校にて「若手従業員の早期戦力化セミナー」を開催し、13名が参加した。中小企業診断士の上村拓也氏と数本優氏より若手従業員が製造現場で働く上で、身に付けておくべき知識を体系的に解説。参加者は品質管理や安全管理の基礎をはじめ、現場で

の円滑なコミュニケーションを図るための考え方などについて、実践的なワークを交えて学んだ。

第237回珠算能力検定試験 一級満点合格者



田中 娜尋さん

人事（敬称略）

【常議員】（6月23日付）

櫻井 龍太郎

（株）タイヨウシヤ 代表取締役

【会員委員会委員長】（6月23日付）

松本 純一

（株）湖月堂 代表取締役

【会員委員会副委員長】

松下 正人

（松下建設（株） 代表取締役）

経営セーフティ共済のご案内

（中小企業倒産防止共済制度）
経営セーフティ共済は、取引先事業者が倒産し、売掛金債権等が回収困難になった場合に、貸付が受けられる共済制度です。掛金月額額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。
（お問合せは中小企業相談所まで）

東大阪市が企業も使える「ゼロカーボン シティ東大阪」ロゴマークを作成

東大阪は、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明している。これに伴い東大阪市では、脱炭素に関連する商品や広報活動などに広く活用できる新ロゴマークを作成。このロゴマークは、事前申請を行うことで自社の環境活動のPR等に活用することが可能である。

本所においても、市内企業の脱炭素経営に向けた取り組みを支援するため、市からの業務委託による「脱炭素推進事業」を実施している。持続可能な事業活動の展開に向け、各社においてもこれらの支援制度や新ロゴマークをぜひ活用されたい。

